

SCB 海外 Special Report

ミャンマー：クーデター(速報)



信金中央金庫 海外業務推進部
SHINKIN CENTRAL BANK
International Business Division
2021年2月2日発行

本稿では、ミャンマーで発生したクーデターの状況について、信金中金がバンコク駐在員事務所および現地関係先を通じて得た情報等を速報でお伝えします。

1. 概要～クーデター発生の背景～
2. 日系企業への影響～ティラワ経済特区では操業停止も～
3. 現地の様子～通信規制や一部パニックバイの様相～
4. 今後の見通し

1. 概要～クーデター発生の背景～

2月1日、ミャンマー国軍によるクーデターが発生した。アウン・サン・スー・チー国家最高顧問兼外相、ウィン・ミン大統領らを拘束し、国軍出身のミン・スエ副大統領が大統領に代わって1年間の緊急事態宣言を発出、全権は国軍総司令官のミン・アウン・フライン氏の管轄化に置かれたと報じられている。

2020年11月に実施された総選挙では、スー・チー氏率いる国民民主連盟（NLD）の圧勝となったが、国軍は同選挙において不正があったとし、2月1日からの議会開催の延期を要請していたものの受け入れられなかったため、同日未明の行動に出た可能性が指摘されている。

今回の緊急事態宣言については、同選挙における不正への対応が図らなかったことが憲法上の要件を満たすとして発出されたものと報じられている。

2. 日系企業への影響～ティラワ経済特区では操業停止も～

現地日本大使館より不要不急の外出を控えるよう注意喚起が行われている。日系大手企業においては、新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえ、在宅勤務が行われており、本件後も引き続き、在宅勤務が行われている状況にある。1日のティラワ経済特区においては、特に検問等は実施されていなかったとの情報もあるが、多くの企業が操業を停止しており、本日以降も状況を見ながら各社再開を検討する状況にある。今後の軍や警察による検問等交通制限の動向によっては、更なる企業操業への影響も発生しうる。

3. 現地の状況～通信規制や一部パニックバイの様相～

現地からの情報によれば、2月1日午前中は通信が遮断されており、使用可能なATMには現金引き下ろしの列が、スーパーには食糧確保のための買い出しの行列が一部見られたという。

本日2日時点では電話回線も回復しているが、繋がりにくい状況。また、インターネットは現時点で不安定ながら繋がるものの、今後シャットダウンされるとの情報もある。通信規制により銀行間ネットワークに支障が発生したことから、現地銀行協会が全銀行の一時閉鎖を指示していたが、通信環境の回復により、2月2日の午後には開くというオフィシャルレターが出ている模様。

また、ヤンゴンでは商業施設の多くが休業しているものの、食料品を販売する商業施設やレストランは営業しており、スーパーマーケットは混雑し、入店制限が行われている店舗もある。

軍や警察による検問等の交通制限、軍による占拠といった様子も現状は見られず、市民の日常生活への影響は軽微な状況。2月1日時点で本邦外務省から在留邦人に被害等が出たとの情報はない。

4. 今後の見通し

最も心配されるのが、今回のクーデターに対する軍部と民主派との衝突である。現状、一部でNLD支持者に対してデモの実施を扇動する動きがみられており、大規模なデモに発展する懸念がある。

ミャンマーへの投資加速は民政復帰がきっかけであり、今回のクーデターはミャンマーの経済成長においても大きな痛手となることが予想される。

<編集・発行>

信金中央金庫 海外業務推進部 企画グループ
東京都中央区八重洲1丁目3番7号
Tel: 03(5202)7703
E-mail: s1000860@facetoface.ne.jp

<信用金庫使用欄>

本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。したがって投資等についてはご自身の判断によってください。また、本レポート掲載資料は、信金中央金庫が信頼できると考える各種データにもとづき作成していますが、信金中央金庫が正確性および完全性を保証するものではありません。なお、記述されている予測または執筆者の見解は、予告なしに変更することがありますのでご注意ください。